

第6回 リレー講座 3.10.16

2021 第6回 リレー講座を以下の通りも施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

担当者 群馬大学共同教育学部教育実践センター
准教授 高橋智美

日程等 10月16日(土)

場所 C105

講義内容 学級づくりを支える協同学習

- ・学級の教育的機能について
- ・協同学習が学級内の友人関係に及ぼす影響について
- ・ネットワーク論からみた学級内の友人関係について
- ・学級における児童間の紐帯と学級コミュニティ感覚及び信頼の関連

参加者の声より一部抜粋

最近、クラス全体で自律的に活動できている場面を見ました。学級をどのように作ればよいのか、悩んだ時、どんな要素があって自律的に活動ができて、雰囲気の良いクラスにできるのか疑問に思っていました。今回の理論の話題が見たクラスの状況にあてはまっているように感じ、疑問に感じていた部分に納得ができました。

「コロナ禍だから・・・。」と自分に言い訳をして、学級づくりに消極的になっていた結果、最近クラスの雰囲気がとても悪くなるとかしなければと思っているところです。今まで「何となく」でやっていた実践が、本当に効果あるものにするにはどうすればよいか、今日の講義を踏まえて考えてみたいと思います。ありがとうございました。

高学年を担当しているので、学級経営について話をきけてとても参考になった。特に、開かれた学級がポイントだと感じた。話しかけられる子がいるというのは大切だと思う。ありがとうございました。

クラスの一員としての所属感をもたせる。そのために、人と関わること(協同)の大切さを勉強させていただきました。現代の子供達の間人間関係が弱く、相手のことを考えない生徒が多くなっていると感じます。所属感をもたせる。協同をする必要感を持たせることが大切ですね。

